

2 事業活動内容

(1) 組織の充実

1) 会員会費取扱者会議（7月5日・12日（2回））

民生・児童委員協議会、募金委員会、町会、自治会などより推薦頂いた方々をほのぼのネット員として委嘱し、会員の増強、会費の収納等の依頼を2地区に分けて行いました。

2) 会員増強運動（7月1日～8月31日）

7～8月を会員増強の期間として設定し、ほのぼのネット員を中心に、市民に協力を呼びかけるとともに、町会、自治会の協力を得て実施しました。

また、本協議会が民間の立場から地域福祉を推進する会員組織であることを広く市民に対して周知を行うため、理事・評議員、部会員及び職員が商工まつり（7月17日・18日開催）に参加し会員会費の増強を図りました。

・新規加入会員	384件
・退会会員	430件
・実質会員増減	46件減
・年度末会員数	8,600件
・会費収入額	6,607,500円(前年度比 248,500円減)

(2) 連絡調整

1) 関係機関、団体等との連絡調整（随時）

本協議会の事業運営に関する事項について、下記の関係機関、諸団体、グループ等と密接な連絡調整を行いました。

・三鷹市健康福祉部	・三鷹市子ども政策部
・東京都社会福祉協議会	・東京ボランティア・市民活動センター
・北多摩南部ブロック社会福祉協議会	・他地区社会福祉協議会
・三鷹市民生・児童委員協議会	・三鷹市募金委員会
・市内各障がい者団体	・三鷹市ボランティア連絡協議会
・ボランティアグループ	・地区住民協議会
・三鷹市市民協働センター	・シルバー人材センター
・その他の関係団体	

(3) 普及宣伝

1) 機関誌等発行（随時）

①「ゆりかご」	(1回)	10,000部
②「社協だより」	(4回)	372,000部（全戸配布4回各93,000部）
③ポスター		
・会員・会費増強ポスター		A2サイズ・・・400枚、B4サイズ・・・50枚

- ・ボランティア講座等 PR ポスター
- ④ホームページ（月 2 回程度更新）
- ⑤広報みたか、コミュニティセンター広報紙に随時掲載

（４）各種貸付金等

1) 生活福祉資金貸付金（随時）

東京都社会福祉協議会が債権者となり行っている各種貸付制度です。三鷹市での相談・受付窓口を本協議会で行っています。

①福祉資金

他からの借り入れが困難な所得の少ない世帯や、障がい者や介護を要する高齢者のいる世帯に対し、その世帯の生活の安定と経済的自立をはかるため資金の貸付を行っています。

- ・新規貸付 7 件

②緊急小口資金

他からの借り入れが困難な所得の少ない世帯で、緊急的かつ一時的に生計維持が困難となった場合に、その事情により小口の貸付を行っています。

- ・新規貸付 23 件

③教育支援資金

他からの借り入れが困難な所得の少ない世帯で、学校教育法に規定する高校、高等専門学校、短期大学、大学、専修学校に通う方へ授業料など必要な経費の貸付を行っています。

- ・新規貸付 24 件

④総合支援資金

失業や減収などにより生計の維持が困難となった世帯に対し、再就職までの間、世帯の自立を支援する相談と、そのために必要となる資金の貸付をしています。

- ・新規貸付 40 件

⑤臨時特例つなぎ資金

失業により住居を失った世帯に対し、各種支援制度が開始されるまでのつなぎ資金の貸付を行っています。

- ・新規貸付 2 件

⑥不動産担保型生活資金

現在居住している自己所有の不動産に、将来にわたって住み続けることを希望する高齢者世帯に対し、その不動産を担保として生活資金の貸付を行っています。

- ・継続貸付 6 件

⑦緊急小口資金（特例貸付）（平成 23 年 3 月 23 日より開始）

平成 23 年東日本大震災および平成 23 年 3 月 12 日以降に発生した長野県北部を震源とする地震により災害救助法の適用となった地域、またこれらの地震に被災したため特例措置が必要な地域として各県知事が設定した地域、平成 23 年福島第

一・第二原子力発電所事故に伴う内閣総理大臣による住民の避難指示の対象となった地域に居住していた方で、都内へ避難された世帯を対象に小口の貸付を行っています。

・新規貸付 1件

2) 応急援護資金貸付金(随時)

生活保護世帯を除く低所得世帯における、不測の事態に対する小口貸付制度で、民生委員の調査により10万円(特別枠20万円)を限度に貸付を行っています。

・新規貸付 22件

・貸付金額 1,837,000円

3) 社会福祉事業資金貸付金(随時)

社会福祉事業施設等の経営を助成するために事業資金の貸付をしています。

・新規貸付 0件

4) 住宅手当緊急特別措置事業(三鷹市から受託)

離職し、就労する意欲と能力がある方のうち既に住宅を喪失したか、もしくは喪失する恐れのある方を対象に、期間を定めて家賃額の一部を支給することにより、住宅と就労機会の確保に向けた支援を行う制度です。実施主体は三鷹市で、受付窓口を本協議会で行っております。

・新規支給 31件

5) 生活安定応援事業(随時)

平成20年8月から東京都が一定の所得以下の方の生活安定に向けた緊急総合対策事業(セーフティネット)として、市区町村に生活相談等を行う窓口を整備し、生活相談に応じるとともに、就職支援や一定の要件を満たした方に資金の貸付を実施しました。

生活安定応援窓口への相談件数合計……………1,380件

・就職チャレンジ支援事業相談件数……………202件(内、申込完了件数43件)

・生活サポート特別貸付相談件数……………110件(うち貸付完了件数13件)

・チャレンジ支援貸付(学習塾等受講料無利子貸付)相談件数

……………752件(うち貸付完了件数64件)

・チャレンジ支援貸付(受験料貸付)相談件数

……………314件(うち貸付完了件数38件)

・その他関連施策の相談件数……………2件

(5) 児童福祉

1) 子ども会助成(6月、児童福祉団体助成)

三鷹市子ども会連合会に登録する地域子ども会の活動費の一部を助成しました。

(13団体 助成総額 155,000円)

- 2) 三鷹市子ども会連合会助成 (6月、児童福祉団体助成)
連合会事業に伴う活動資金の一部を助成しました。
(1団体 助成額 30,000円)
- 3) 子どもまつり後援 (5月)
第33回みたか子どもまつりを後援し、同実行委員会に対し、運営費の一部を助成する等協力しました。(助成額 5,000円)
- 4) 一日里親行事への助成 (12月11日)
三鷹市赤十字奉仕団による朝陽学園児童に対する一日里親行事として、「上野恩賜動物公園」で交流会が実施され、本会はこれに助成しました。
(園児数 15人、団員 19人、助成額 120,000円)
- 5) 小中学生補習教室参加者援助 (通年)
生活保護世帯の小学生(3年~6年)で補習教室に参加する希望者に対し受講料を助成しました。
(生徒数 延べ17人 助成総額 472,000円)
- 6) 入進学祝品の支給 (平成23年2月)
生活保護世帯の小学校1年に入学する児童に対しランドセルを、中学校1年に入学する生徒には、学用品等購入費として7,000円を援助しました。
(生徒数 41人 助成総額 421,900円)
- 7) 交通遺児援護金 (通年)
低所得世帯の交通遺児(18歳未満)に対し援護金を支給するものです。
(本年度実績 0名)
- 8) 学童保育事業 (通年)
三鷹市学童保育所条例に基づき、三鷹市より指定管理者として指定を受け19カ所の学童保育所を運営し、1年生~3年生(障がい児は4年生)の児童を保育しました。保育時間は放課後から午後6時まで。また、平成22年10月1日から平成23年2月28日までの間、午後7時までの緊急延長保育を実施しました。なお、全学童保育所で障がい児を受け入れることとしていますが、本年度は11カ所(20人)の学童保育所で保育を実施しました。

平成23年3月末現在の在籍児童数は次のとおりです。

一小A	47人	七小A	41人	北野小A	24人
一小B	44人	七小B	29人	北野小B	42人
二小A	64人	大沢台小	32人	井口小	63人
二小B	61人	高山小A	55人	東台小	54人
三小A	48人	高山小分室	29人	羽沢小	52人
三小B	43人	中原小A組	45人		
五小	52人	中原小B組	42人		

(定員数 930人 在籍数 867人)

9) 団体助成 (6月)

- 三鷹市助産師会 100,000円 (社会福祉団体助成)
三鷹市母子寡婦福祉会 100,000円 (ひとり親家庭福祉団体助成)

10) 子育て支援事業

①助産師と一緒に赤ちゃんと遊びましょう (毎月第1・3月曜日、午後)

出産、分娩、育児などの相談とお母さん同士のおしゃべりサロン「助産師と一緒に赤ちゃんと遊びましょう」を三鷹市助産師会と共催で行いました。

(実施日数 19回 参加者延べ3,215人 経費総額 100,000円)

②子育てサロン地域開催

ほのぼのネットの協力により地域の地区公会堂やコミュニティセンターを利用して、「助産師と一緒に赤ちゃんと遊びましょう」を三鷹市助産師会と共催で行いました。

(実施回数 3回 参加者 延べ92人)

③マタニティ・ヨガ教室 (毎月第1・3月曜日、午前)

出産を迎える妊婦さん(15週以降)なら誰でも簡単に行うことができる「マタニティ・ヨガ教室」を三鷹市助産師会と共催で行いました。

(実施回数 19回 参加者 延べ177人 助成額 100,000円)

④妊婦さんと先輩ママの交流会 (年4回、第5月曜日、午後)

出産を迎える妊婦さんと、育児中の母親が交流する機会として「妊婦さんと先輩ママの交流会」を三鷹市助産師会と共催で行いました。

(実施回数 4回 参加者 延べ55人)

11) 異世代交流事業

①地域囲碁教室(毎月第4土曜日)

自治会(四ッ葉ときわ自治会)の協力を得て、市内小学生との対局を通じて異世代交流を行いました。(11月で終了)

(実施回数 7回 参加者延べ49人)

②将棋教室

老人福祉センター将棋利用者の協力を得て、夏休みを利用し、市内の小学生の児童との対局を通じて異世代交流を行いました。

(実施回数 3回 参加者延べ54人)

(6) 心身障がい者福祉

1) 障がい者福祉団体助成 (6月)

- ①三鷹市身体障がい者福祉協会 320,000円
②三鷹市中心身障害者(児)親の会、三鷹市中心身障がい者育成会、
三鷹市視覚障がい者協会、三鷹パーキンソン病友の会、あおき会、サタデー学級、
三鷹市聴覚障がい者協会 各 100,000円

3) 身体障がい者レクリエーション (10月27日)

「広報みたか」で参加者を募集し、バス3台に分乗し、群馬県月夜野方面への日帰り旅行を実施しました。

(参加者：身障者 53人、付添 21人、ボランティア 4人、保健師 1人、手話通訳 2人、経費総額 827,082円)

4) 心身障がい者通所助成事業 (通年)

授産施設等に通所し、自立生活の実現のために学習する心身障がい者に対し、交通費の一部として3,310円(月額)の助成金を支給しました。

(対象者 61人、15施設、経費総額 2,055,510円)

(7) 高齢者福祉

1) 老人クラブ活動費助成 (5月～10月)

① 老人クラブが行う行事に対し、会員数に応じた6段階の助成金を三鷹市受託事業として交付しました。

(全33クラブ、交付総額 2,244,000円)

② 本協議会から100人未満のクラブには、年1回13,000円、100人以上のクラブには18,000円を助成しました。

(全33クラブ、助成総額 469,000円)

2) 三鷹市老人クラブ連合会助成等 (通年)

① 市老連芸能大会に370,000円、市老連文化祭に170,000円を三鷹市受託事業として交付しました。

(交付総額 540,000円)

② 本協議会では、連合会の運営費として80,000円を助成しました。

③ 老人福祉担当職員が市老連の事務等に協力しました。さらに、東京都、東老連が主催する行事への参加など関係機関との連携、協力を努めました。

3) 敬老のつどい (9月18・19日)

満77歳以上の市民を公会堂に招待する「敬老のつどい」を9月18日・19日の2日間、市内を対象者が平均化するように地域を区分し、午前・午後の4回に分けて実施しました。「つどい」は、式典と演芸に分け、式典では市長、会長が主催者として挨拶し、市議会議長、都議会議員等に来賓としてご出席いただきました。

なお、公会堂ホールでのお茶席や市民センター中庭での種々の模擬店などは、老人福祉センター茶道サークル、民生委員、ボランティアグループ、市内の全中学校生徒のボランティアの協力により実施しました。

・対象者 13,729人 実参加者 3,625人

・大沢 270人 深大寺 201人 井口 233人 野崎 117人

上連雀 661人 下連雀 742人 井の頭 254人 牟礼 365人

北野 120人 中原 339人 新川 323人 (総額 6,671,819円)

4) 老人レジャー農園の運営（通年）

三鷹市老人レジャー農園事業運営要綱に基づくこの農園は、本協議会が昭和 47 年度に三鷹市より運営委託され、計 535 区画を運営しています。利用者は、満 60 歳以上の市民で一世帯 1 区画となっています。

各農園の区画数は次のとおりです。

- ・ 牟礼二丁目レジャー農園 76 区画
- ・ 牟礼五丁目レジャー農園 95 区画
- ・ 上連雀七丁目第 1 レジャー農園 140 区画
- ・ 上連雀七丁目第 3 レジャー農園 88 区画
- ・ 新川レジャー農園 49 区画
- ・ 北野二丁目レジャー農園 87 区画

（合計区画数 535 区画）

5) いきいき大学の開催（6月～7月）

老後の生活を豊かにするには、まず心身の健康からという観点から、ねたきりや認知症等の老化予防に重点をおいた実践的講座（ヨガ、気功法、将棋）（全 6 回）を開設しました。

（受講生 27 人 延受講生 54 人 経費総額 130,917 円）

6) 歩く運動奨励事業（通年）

もっとも手軽で安全な健康法と言われる「歩く運動」を奨励するため、三鷹市広報等で参加者を募集し希望者に歩数計を交付しました。事業への参加者は、平成元年から 22 年間で 3,992 人に達しました。なお、この内 402 名の方が 1,000 万歩を達成しました。

（4月～3月、交付数 54 個、経費総額 154,925 円）

7) 自主グループ育成助成事業（5月）

いきいき大学の卒業生を中心に健康保持の活動とボランティア活動を行う自主グループに対し助成を行いました。

- ・ いきいき太極拳グループ 2 団体
- ・ イキイキ料理クラブ 1 団体
- ・ いきいきコーラス 1 団体
- ・ いきいき俳句会 1 団体

（全 5 団体 助成総額 50,000 円）

8) 車椅子の貸出し 通年

三鷹市民で貸出しを希望する本人又は家族に 1 ヶ月ごとに更新し、3 ヶ月を限度に無料で貸出しました。

（貸出し件数 289 件）

9) 家族介護者交流事業（経費総額 2,169,422 円）

①介護者のつどい（11月24日～25日）

在宅で介護している方を対象として「介護者のつどい」を開催し、福島県磐梯熱海温泉へ一泊旅行を実施し、介護者のリフレッシュと共に介護者同士の交流を行いました。（参加者 30 人）

②介護者移動談話室（平成 23 年 2 月 22 日）

宿泊が困難な在宅の介護者が参加しやすいよう、日帰りでのリフレッシュ事業として、浅草寺仲見世散策・隅田川屋形船での昼食・買い物を楽しみ、介護者同士の交流を図るとともに、日ごろの介護の疲れを癒すための内容で実施しました。

（参加者 34 人）

③介護者談話室

在宅で高齢の家族を介護している方に対する介護者同士の交流、介護技術の学習、情報提供の場として介護者談話室を開催しました。

- ・定例開催（毎月第 4 火曜日ただし 9・12・2 月を除く）

介護者同士の交流・懇談・情報交換を福祉会館 3 階和室で行いました。

（9 回実施 参加者延べ 140 人）

- ・介護者談話室第 1 回地域開催（7 月 20 日）

ほのぼのネット新川 6 丁目班・丸池班との共催で、ミニ勉強会、介護者同士の交流、相談会（介護保険・市制度等）及び介護用品展示会を行いました。

（新川宿地区公会堂、参加者 41 人）

- ・介護者談話室中央開催（9 月 21 日）

介護体験についての講演会、介護者同士の交流、相談会（介護保険・市制度等）及び介護用品展示会を行いました。

（三鷹市福祉会館、参加者 34 人）

- ・介護者談話室第 2 回地域開催（10 月 19 日）

ほのぼのネット野崎 1・2 班、野崎西班との共催で、ミニ勉強会、介護者同士の交流及び相談会（介護保険・市制度、介護用品展示等）を行いました。

（パナソニック介護チェーン武蔵野、参加者 22 人）

④介護者談話室企画委員会

家族介護者支援事業の円滑な運営を図ることを目的として関係機関、関係団体の協力を得て、談話室企画委員会を設置し、「介護者談話室」、「介護者のつどい」及び「介護者移動談話室」を企画、実施しました。

（開催回数 6 回）

⑤家庭介護教室（10 月 30 日、2 コマ）

在宅で寝たきり、認知症の家族を介護している方や、介護に関心のある方を対象に、「三鷹市の福祉をすすめる女性の会」と共催で実施しました。

（延参加者 35 人）

10) 在宅福祉事業助成金交付（7 月）

高齢者デイサービス事業を実施するボランティアグループ「亀の会」に対して助成金を交付しました。

（助成額 143,000 円）

11) 介護予防講座の開催（通年）（経費総額 369,570 円）

- ①市内在住の 60 歳以上の方を対象に介護予防を目的として「さわやか・ゆめ体操教

室」を福祉会館内老人福祉センターにおいて実施しました。

(開催回数 23 回 延参加者 597 人)

②ヨガ教室 (10 月～12 月)

市内在住、在勤の 55 歳以上の方を対象に介護予防を目的として、転倒防止などに役立つヨガ教室を福祉会館利用団体グループ「三鷹ヨガ倶楽部」の協力を得て実施しました。

(全 6 回、会場：老人センター、参加者：25 人、 延参加者：133 人)

③シニアのための吹矢講座 (2 月～3 月)

市内在住、在勤の 55 歳以上の方を対象に介護予防を目的として、腹式呼吸を大切にシニアのため吹矢講座を「日本スポーツ吹矢協会吉祥寺支部」の協力を得て実施しました。

(全 6 回、会場：老人センター、参加者：36 人、 延参加者：174 人)

(8) ひとり親福祉

1) ひとり親家庭レクリエーション (8 月 28 日)

ひとり親家庭レクリエーション行事として、東京ディズニーランドのチケット優待を実施しました。

(参加人員 157 人、経費総額 687,480 円)

(9) 法外援護

1) 緊急法外援護 (随時)

低所得者で緊急に援護を要する状況にある者に対し、交通費や食事代等の支給を三鷹市に委託し実施しました。

(要援護者 24 人、経費総額 32,930 円)

(10) 福祉啓発事業

1) 福祉映画会 (平成 23 年 3 月 20 日)

福祉啓発事業の一環として、三鷹市公会堂ホールにおいて三鷹市ボランティア連絡協議会との共催で、第 15 回福祉映画会「上映作品：ディア・ドクター」を実施する予定でしたが、東日本大震災の影響で上映 (午前・午後の計 2 回) を中止しました。

(参加者 0 人、経費総額 67,738 円)

2) 福祉バザー (10 月 3 日)

第 32 回福祉バザーは三鷹市暫定管理地 (旧：東京多摩青果市場跡地) を会場として、ボランティア (グループ)、福祉団体、民生・児童委員、ほのぼのネット員、東京土建三鷹支部、北多摩建設産業労働組合、NPO 法人アラスネットワーク等多数の方々の参加協力を得て実施しました。当日は天候に恵まれ、大勢の来場者・協力者を合わせて約 3,029 人の方々の参加を頂きました。社協事業として広く市民

の間に定着し、福祉啓発活動への理解が得られました。

(総売上額 1,378,656 円、内社協コーナー 124,748 円)

(11) 社会を明るくする運動 (7 月)

法務省が主唱し、各市町村長が実施委員長となって保護司会の協力を得て全国的に行われた第 60 回「社会を明るくする運動」(青少年非行化防止)には、本会会長も委員として参加し、経費の一部を助成しました。

(助成額 50,000 円)

(12) 社会福祉団体助成 (6 月)

・三鷹市の福祉をすすめる女性の会	100,000 円
・三鷹市助産師会	100,000 円
・三鷹市原爆被爆者の会	100,000 円
・NPO 法人みたかハンディキャブ	20,000 円
・三鷹市遺族会	100,000 円

(13) 相談・サービス利用援助事業

権利擁護センターみたか (通年)

1) 相談事業

三鷹市より受託運営の権利擁護センターでは、高齢者や障がい者の方の権利擁護や苦情調整に関する総合相談、成年後見制度の利用支援の相談を行いました。

また、福祉サービス利用援助事業 (地域福祉権利擁護事業: 東京都社会福祉協議会より受託) では、福祉サービスを適切に利用するための援助、利用者の日常的な金銭管理や書類等の預かりサービスを行いました。

・センターへの相談件数 5,039 件 (内新規 200 件)

・専門相談件数 36 件 (成年後見制度関係 15 件)

(権利擁護・苦情調整・法律一般関係 21 件)

・福祉サービス利用援助事業 (地域福祉権利擁護事業)

(継続 26 件、新規契約 11 件、解約 6 件、平成 22 年 3 月末現在 契約 37 件
(市拡大枠含む))

2) 啓発活動

・成年後見無料相談会 (10 月 16 日)

社団法人成年後見センター・リーガルサポートと財団法人武蔵野市福祉公社と共催にて、市民を対象に成年後見制度の無料相談会を実施しました。

(相談ケース 9 件)

・市民ふくし講座 (平成 23 年 2 月 26 日)

市民を対象に、成年後見制度の基礎知識を学ぶ講座と制度の体験談を含めたシンポジウム「成年後見ってなに? ~親族の体験談から学ぶ~」を開催しました。

(受講者 48人)

・その他

その他関係機関主催の勉強会や講座に、職員が出張し、成年後見制度等の制度説明を行いました。(介護者談話室、認知症を支える家族の会、ケアマネ交流会、障がい者の暮らしセミナー等)

3) 市民後見人の養成

・三鷹市市民後見人養成講座 (8月23日24日)

社会貢献型後見人養成講座修了者に対し、追加で三鷹市独自のカリキュラムを行い、市民後見活動メンバーとして7名を登録しました。

(14) 小地域ネットワーク事業 (ほのぼのネット事業) (通年)

1) 住民が高齢者・障がい者等の生活課題を発見して解決していく、小地域のボランティア活動で、各団体及びボランティアを「ほのぼのネット員」に委嘱し、担当地区の見守り、ふれあい活動を推進しました。

また、新たな地区活動の取り組みとして、「子育て」や「地域交流」活動等のモデル事業を6地区で指定しました。

班名	地区	活動内容
けやき班	上連雀一～三丁目	子育てサロン「子育て中のお母さんあつまれ」の実施
山中班	上連雀八・九丁目	高齢者見守りマップの作成
野崎1・2班	野崎一・二丁目	子育てサロン「ほのぼの野崎」の実施
深大寺班	深大寺二丁目	AED設置マップの作成とAED講習会の実施、車イス講習会の実施
井の頭さくら班	井の頭三～五丁目	AED設置マップの作成
大沢班	大沢四・五丁目	見守りマップの作成

(平成23年3月末現在 ネット員 468人)

①ふれあいサロン活動 (開催回数 延べ172回 参加者数 延べ3,706名)

2) ほのぼのネットは、以下のように地区を指定し、活動の定着と発展を図り、各班に活動費を助成しました。

- ①井の頭班 井の頭一・二丁目
- ②井の頭さくら班 井の頭三～五丁目
- ③牟礼東班 牟礼一・二丁目
- ④たかやま班 牟礼三・四丁目
- ⑤牟礼第一班 牟礼五～七丁目
- ⑥きたの班 北野全域
- ⑦新川班 新川一・四・五丁目
- ⑧丸池班 新川二・三丁目

⑨新川六丁目班	新 川 六丁目
⑩中原班	中 原一・二丁目
⑪中原コスモス班	中 原三・四丁目
⑫けやき班	上連雀一～三丁目
⑬上連せせらぎ班	上連雀四・五丁目
⑭下連雀1・2班	下連雀一・二丁目
⑮下連雀3・4班	下連雀三・四丁目
⑯上連雀6・7班	上連雀六・七丁目
⑰山中班	上連雀八・九丁目
⑱下連ひまわり班	下連雀五・六・八丁目
⑲なでしこ班	下連雀七・九丁目
⑳野崎1・2班	野 崎一・二丁目
㉑野崎西班	野 崎三・四丁目
㉒井口東班	井 口一・二丁目
㉓井口西班	井 口三～五丁目
㉔深大寺北班	深大寺一・三丁目
㉕深大寺班	深大寺 二丁目
㉖大沢わかば班	大 沢一・二丁目
㉗のがわ班	大 沢三・六丁目
㉘大沢班	大 沢四・五丁目

3) 情報交換及び全体的な活動を推進するため会議・研修を開催しました。

①ほのぼのネット員新任研修

平成21年6月以降に委嘱したほのぼのネット員を対象に、活動の概要説明と市内の福祉施設見学を行いました。(出席者総数 24人)

②正副班長会(年3回)

③ほのぼのネット員研修

- ・ 傾聴の基本を学ぶ!～心ふれあう傾聴のすすめ～(参加者64名)
- ・ 高齢者の「からだ」を理解する～認知症ってどういう病気?～(参加者73名)
- ・ 素敵にほめる ～自分も相手もほめてみよう～(参加者68名)
- ・ 障がいをもって暮らすということ ～地域で障がいをもった方を見守る～(参加者31名)
- ・ 児童虐待の現状を知る ～地域での見守りを考えよう～(参加者68名)

4) コミュニティまつりの参加

住民協議会主催の「コミュニティまつり」に担当地区のネット班が参加し、地域住民に活動をPRしました。(4地区)

(15) ボランティア関係事業

1) ボランティア活動推進協議会

- ① ボランティア活動に関する事業計画、予算、その他通常業務についての検討、審議をしました。

(定例開催 5 回、臨時開催 1 回、役員会 1 回、懇親会 1 回)

②部会の開催

- ・市民啓発部会 (開催回数 4 回)
- ・養成研修部会 (開催回数 4 回)

③視察研修 (平成 23 年 2 月 5 日)

「家族介護を考えるつどい」(東京ボランティア・市民活動センター主催)に参加しました。(参加者 1 人)

2) 啓発事業

①ボランティア活動の普及宣伝

ア. 定期刊行物 (通年)

ボランティアミニミニ広場の発行 (12 回 全 43,200 部)

ボランティア、市民活動団体、町会・自治会、その他公共施設等に、配達ボランティアの協力を得て配布しました。

イ. 不定期刊行物 (各年 1 回)

- ・ボランティア NPO ガイド 2010 1,450 部
- ・ふれあい秋まつり 2010 小冊子 500 部
- ・「小中学生ボランティア活動作品」カレンダー 3,000 部
- ・その他チラシ・ポスター作成

ウ. 小中学生ボランティア活動作品募集 (8 月～9 月)

小中学生から福祉啓発作品 (ポスター、標語) を受け付けました。

応募者総数 976 人 (小学生 973 人、中学生 3 人)

ポスター 74 点、標語 902 人

選考結果 最優秀賞 ポスター 4 点 標語 4 点

優秀賞 ポスター 8 点 標語 13 点

②ボランティア活動キャンペーン

コミュニティ・センターまつり等に参加し、ボランティアセンターの活動を PR しました。

- ・新川中原コミュニティ・センターまつり 4 月 17 日～18 日
- ・大沢 // 5 月 29 日～30 日
- ・東部地区スポーツ大会 9 月 12 日
- ・井の頭コミュニティ・センターまつり 10 月 23 日～24 日
- ・連雀 // 10 月 23 日～24 日
- ・三鷹駅前 // 10 月 16 日～17 日

3) 調査研究事業

ボランティアの活動状況について調査しました。

- | | |
|------------------|------|
| ①個人登録ボランティア | 777名 |
| ②登録・協力ボランティアグループ | 79団体 |
| ③ボランティア受入れ施設・団体 | 75箇所 |

4) ボランティア講座

ボランティア養成講座を次の通り開催しました。

①ボランティア実践講座（3種類）

ア．朗読ボランティア養成講座（5月～平成23年2月）

ボランティアグループ「ういろうの会」の協力を得て実施しました。

（全10回、会場：ボランティアセンター、参加者25人）

イ．点字講習会（5月～7月）

ボランティアグループ「きつつき会」の協力を得て実施しました。

（隔年開催のため今年度は実施せず）

ウ．精神保健ボランティア講座（平成23年1月～3月）

ボランティアグループ「おいしい会」と「ほのぼのふらっと Café」の協力を得て実施しました。

（全4回、会場：ボランティアセンター他、参加者22人）

②夏！体験ボランティア2010inみたか（7月～9月）

東京ボランティア・市民活動センターと共催で、高齢者施設、障がい者施設、保育園、学童保育所、ボランティアグループ等の協力を得て実施しました。

（参加者：184人 延べ241人 受入施設等：70か所）

③先生向けボランティア講座（8月2日）

市内在勤の先生を対象に、ボランティアへの理解を得ることを目的に、認知症サポーター養成講座、高齢者、障がい者の疑似体験等を実施しました。

（会場：福祉会館、参加者：15人）

④ボランティア・ナビゲーション「家族の『うつ』とつきあう4つのヒント」（6月～7月）うつ病の知識と理解を深め、うつ病の方を支える方法等を話し合いました。

（会場：ボランティアセンター、参加者：21人）

⑤家族介護を考えるつどい（平成23年2月5日）

東京ボランティア・市民活動センター主催のイベントに協力しました。

（会場：三鷹駅前コミュニティ・センター、参加者81名）

⑥ブロック共催事業（平成23年2月2日）

近隣5市（三鷹市、調布市、府中市、狛江市、小金井市）のボランティア・市民活動センターと共催で災害ボランティアセンター立ち上げ勉強会を開催しました。（会場：調布市市民プラザあくろす市民活動支援センター）

5) 傾聴ボランティア事業

①傾聴ボランティア・スキルアップ講座

傾聴ボランティアの技能向上のために、NPO 法人ホールファミリーケア協会の協力で事例検討会および全体研修を開催しました。

・事例検討会（5月17日～平成23年1月11日）

（全5回、会場：福祉会館、延べ参加者78人）

・全体研修（平成23年2月23日）

内容：「認知症の症状がある方への対応講座 III」

（会場：福祉会館、参加者 29人）

②傾聴ボランティア基礎講座（平成23年2月15日）

傾聴ボランティア活動への理解を深める機会として、民生委員やほのぼのネット員、市民を対象に、NPO 法人ホールファミリーケア協会の協力で入門講座を開催しました。

（会場：福祉会館、参加者 56人）

③班リーダー会議（6月、平成23年1月）

地区分けした5つの班のリーダー、サブリーダーによる会議を開催しました。

④班会議（通年）

各班が活動（個人宅、施設）に関する情報交換、施設活動の日程調整のための会議を開催しました。

⑤傾聴ボランティア活動

本協議会に登録したボランティアが、高齢者、障がい者の話し相手として、個人宅、高齢者施設等で活動を行いました。

（通年、登録ボランティア92人、個人宅：58か所 延べ574人、

施設：14か所 延べ548人、施設（個別）：12か所 延べ127人

地域ケアネットワークのサロン：3か所 延べ83人）

6) 電話訪問事業

① 65歳以上の一人暮らしの高齢者等を対象に、ボランティア（電話訪問員）が5つの班に分かれて安否確認と孤独の解消を目的に電話訪問を行いました。

（活動日：毎週月、水、金曜日。ただし、水曜は午前のみ。対象者：71人、ボランティア19人、実施回数141回、延ボランティア出務人数910人、延訪問回数2,909回）

② 電話訪問員の学習および情報交換のため、月例会（視察：みたか紫水園、研修：東村山市社協視察、学習会、事例検討等）を開催しました。

（毎月第2木曜日、開催回数11回）

③ 電話訪問している高齢者に暑中見舞いと年賀状を送りました。

（7・12月末、延対象者 141人）

④ 交歓会（10月4日）

電話訪問員と利用者の交流を目的に福祉会館で行いました。（参加者 31人）

7) 援護事業

録音テープ発受事業として「広報みたか」「みたか議会だより」などをボランティアグループ「ういろうの会」の協力を得てテープに録音し、希望する視覚障がい者や高齢者等に発送しました。

(対象者 31 人、延発送回数 75 回、延発送本数 1,598 本)

8) ボランティア啓発イベントの開催

① ふれあい秋まつり 2010 (第 27 回福祉の街づくり市民のつどい、11 月 7 日) ボランティアグループ、NPO を中心に市民活動団体も加え、各々の活動紹介を通して、市民参加を呼び掛けました。参加団体で構成した実行委員会を 6 回開催し、本年度は次の内容で実施しました。

- ・主 催 三鷹市社会福祉協議会
- ・共 催 新川中原住民協議会
- ・実施主体 ふれあい秋まつり 2010 実行委員会
- ・後 援 三鷹市、三鷹市教育委員会、三鷹市ボランティア連絡協議会、
三鷹市民生児童委員協議会
- ・会 場 新川中原コミュニティ・センター
- ・内 容 ボランティアグループ・市民活動団体等活動紹介 (41 団体)
鼓笛隊 (春清学苑幼稚園)
体験コーナー
(ハンディキャブ試乗、パソコン、折り紙、ネイルアート、録音、
科学あそび、手話、ピンボール等)
各種イベント
(介護予防体操「さわやか・ゆめ体操」、日舞、手話寸劇、リコーダー演奏、フラダンス)
ふろしき市
スタンプラリー (景品付き) (参加者 192 人)
- ・参加者数 447 人

② 第 7 回セカンドライフのつどい 2010 (9 月 4 日)

シルバー人材センター、いきいきプラス、わくわくサポートとの共催、三鷹市の後援により、これから定年を迎える方々を対象に、定年後の生き方のひとつとしてボランティア活動への参加を呼び掛けました。(参加者 60 人)

③ 納涼まつり (7 月 31 日)

ボランティアセンターの前庭を会場にふろしき市、模擬店、フラダンス、ハーモニカ演奏等を催し、ボランティア活動への理解と協力を呼び掛けました。(参加者 370 人)

④ 新春交流会 (平成 23 年 1 月 29 日)

ボランティアセンターの前庭を会場に、もちつき、模擬店、ふろしき市等を催し、ボランティア活動への参加を促すために実施しました。(参加者 326 人)

9) ボランティア活動普及協力校助成事業

児童・生徒のボランティア活動普及協力校として以下の小中学校を指定し、活動を助成しました。

①指定校

小学校：第三小学校、第六小学校、第七小学校、高山小学校、南浦小学校、
中原小学校、北野小学校、東台小学校、羽沢小学校
中学校：第二中学校、第四中学校、第六中学校、第七中学校

②助成金交付額 14校 538,462円

10) ボランティアグループ助成事業

ボランティア活動の活性化を図るため、申請のあった登録ボランティアグループ・ボランティア連絡協議会に対して、運営費の一部を助成しました。

(ボランティアグループ 20団体 950,000円・ボランティア連絡協議会 120,000円)

11) みらいファンド助成

登録・協力団体が実施する講演、講座、市民交流イベントなどの開催経費の一部を助成しました。(5団体 200,475円)

12) ボランティア保険の加入(通年)

ボランティア活動中の事故に対する保障として、ボランティア保険の加入手続きを行いました。(加入者 2,105人)

13) 交流事業

①三鷹ボランティア交流会(毎月第4土曜日)

ボランティア連絡協議会が主催し、ボランティアセンターも協力して、ボランティア活動の学習、情報交換、宿泊研修、施設見学を実施しました。

- ・交流会 4回 (延参加者 40人)
- ・宿泊研修 1回(長野方面、5月8~9日、参加者 24人)

②配達ボランティア懇談会(平成23年2月21日)

広報紙等の配達・発送ボランティアによる意見交換及び情報交換会を1回開催しました。(参加者 13人)

③利用者懇談会

センターを利用しているグループ等による意見交換及び情報交換会を平成23年3月12日に開催する予定でしたが、東北地方太平洋沖地震の影響で中止しました。

14) センター運営事業

①ボランティアセンターの利用状況

登録者 6,026人
・個人登録 714人
・団体登録 61団体 2,585人 ・協力団体 15団体 2,727人
センター利用者 延 18,310人
・個人 延 5,235人
・部屋利用 延 13,075人 (1,207件)

- ・一日平均 58.3 人
- ・一日平均グループ 3.8 グループ

ニード及びボランティア派遣状況（平成 23 年 2 月末現在）

- ・ニード数 1,815 件
- ・対応件数 1,724 件 ・派遣人数 2,280 人

②木曜サロンの運営等

- ・ボランティア活動をしたい方々の要望を受けて、ボランティアセンター福祉ショップの作品製作等を行いました。

（毎週木曜日、延実施回数 45 回、延参加者 359 人）

- ・古切手、使用済みカードを売却し、ボランティア基金に積み立てました。

（使用済み切手 約 58.5 kg、使用済カード 14,800 枚）

③福祉ショップの運営（通年）

ボランティア及びボランティアグループ、高齢者、障がい者、市民が作った品物をボランティアセンターで販売しました。また、バザー等のイベントにも参加して販売しました。

出張売上額 217,430 円、販売点数 751 点、総売上額 132,538 円

④ふろしき市（フリーマーケット）への協力（原則毎月第 4 土曜日）

ボランティア連絡協議会が主催するふろしき市の会場としてボランティアセンター前庭を提供し、参加申し込みの受付など、開催に協力しました。

（延開催回数 9 回、延区画数 165 スペース）

15) ボランティアコーナー

福祉・ボランティア活動の理解と参加を促すため、コミュニティ・センター内に、ボランティアコーナーを設置し、福祉ショップの開設、古切手、使用済みカードなどの寄贈を受け付けました。

- ①新川中原コーナー 毎週火・金曜日 午前 10 時～午後 4 時
- ②連 雀コーナー 毎週火曜日 午前 10 時～午後 4 時
- ③大 沢コーナー 毎週木曜日 午前 10 時～午後 4 時
- ④牟 礼コーナー 毎週木曜日 午前 10 時～午後 4 時
- ⑤井 口コーナー 毎週火曜日 午前 10 時～午後 4 時
- ⑥三鷹駅前コーナー 毎週木曜日 午前 10 時～午後 4 時

（ボランティアコーナー福祉ショップ総売上額 349,520 円）

16) 市民カフェの運営（通年）

本協議会（ボランティアセンター）と三鷹市ボランティア連絡協議会の協働事業として、市民センター公会堂別館でボランティアによる市民交流カフェ“C—Café”を運営しました。実際の運営はボランティアグループ C—Café プロジェクトが行いました。

また、本協議会、三鷹市ボランティア連絡協議会、C—c a f e プロジェクトで運営委員会を組織し、運営方針等を協議しました。

- ・開店日数 237 日
- ・1 日平均売上額 62,389 円
- ・運営委員会 5 回

17) 読み書き支援事業（通年）

三鷹市から委託を受け、視覚障がい者の手紙や書類の代読および代筆を、朗読ボランティアグループ「ういろうの会」の協力を得て実施しました。

（延べ派遣件数 101 件）

18) 災害ボランティア

①災害時スタッフボランティア会議の開催

市総合防災訓練への参加、災害ボランティアセンターの運営や立ち上げ訓練について、協議しました。（開催回数 1 回）

②防災訓練への参加

- ・市総合防災訓練（8 月 29 日 メーン会場：第一中学校）

災害ボランティアの募集や防災マップづくり体験を行いました。

- ・防災関係機関連携訓練（11 月 21 日 三鷹市役所周辺）

災害ボランティアセンターの受付、派遣等の訓練を行いました。

③災害ボランティアセンター立ち上げ訓練

北多摩南部ブロックボランティアセンター共催事業を活用し、図上訓練を行いました。

(16) 献血推進事業

1) 献血推進活動（通年）

町会、自治会、商店会、会社及び学校等の協力と三鷹市赤十字奉仕団、ボランティアの奉仕活動により献血実施に協力しました。実績は次のとおりです。

- ・会場数 69 ヲ所
- ・受付人数 4,701 人
- ・採血人数 3,720 人
- ・奉仕者数 延 180 人

2) 献血推進協議会

- ・献血推進を目的に、啓発宣伝・献血会場の確保・献血デーの開催等について、意見交換、情報交換を行いました。（開催回数 2 回）
- ・三鷹駅前南口で献血を実施しました。（愛の献血デー：受付 62 人、採血者 46 人）
- ・三鷹駅南口「緑の小ひろば」で年間を通じて定期的に献血を実施しました。（7 回実施、採血者 252 人）

(17) 一円硬貨募金

本協議会事業運営資金の造成と老人クラブ等の社会奉仕・社会参加活動の一環として、老人クラブ連合会、単位老人クラブの積極的協力を得て、市民へ寄付の働き

かけを行いました。

(募金総額 393,000 円)

(18) 原爆被爆者援護等

1) 見舞品支給

原爆に被爆された方で、特別手当を受給されている市民に対し、年1回見舞品として1人2,000円相当の「クオカード」を贈りました。

(8月、対象者126人、支給総額252,000円)

2) 団体助成 ～再掲～

原爆被爆者を会員として組織している「三友会」に対し活動費の一部として助成しました。

(6月、助成額100,000円)

(19) 福祉施設等助成

1) 施設助成

私立保育園、養護施設及び作業所等に対し、運営費の一部として助成を行いました。

(6～7月、18施設、助成総額720,000円)

2) 運営費助成 (7月)

歳末たすけあいの再配分として、作業所、保育園等の施設運営費の一部として助成を行いました。

(33施設、助成総額2,656,000円)

(20) 福祉会館管理運営

三鷹市より指定管理者として管理運営を指定され福祉会館の運営を行っています。

1) 利用状況

- ・老人福祉センター 延 44,919人(月例検診 延85人)
- ・会議室 延 28,914人(1,015件内有料292件)

2) 会館行事

- ・緑陰行事 (レクダンスパーティー、囲碁・将棋大会、パターゴルフ大会)
- ・七夕祭り
- ・敬老行事 (レクダンスパーティー、囲碁・将棋大会、演芸大会、
パターゴルフ大会、お茶会、コーラスのつどい、書道作品展)
- ・12月行事 (クリスマス・レクダンスパーティー、ゆず湯)
- ・新春行事 (囲碁・将棋大会、初釜、書道作品展)
- ・早春行事 (雛祭りコーラスのつどい)

3) 自主グループ活動

ボランティアの指導を受けながら、老人福祉センター利用者が自主活動を行い

ました。

(延べ利用者数)

・レクダンス	605人	・ゴルフ	1,286人	・民謡	288人
・書道(かな)	179人	・謡曲	271人	・歌唱	629人
・詩吟	368人	・カラオケ	484人	・コーラス	428人
・民謡	332人	・俳句	40人	・書道(漢字)	362人
・詩吟	206人				

4) 福祉会館ロビーの活用

市内障がい者団体等にロビーを貸出して活動場所の提供を行っています。本年度は91件の利用がありました。利用団体は以下のとおりです。

- ・社会福祉法人にじの会 86件
- ・三鷹市教育委員会学務課 4件
- ・NPO法人みたかハンディキャブ 1件

(21) 歳末たすけあい運動(運動期間:12月1日~12月31日)

- 1) 三鷹市募金委員会と本協議会が実施主体となって、町会、自治会、民生・児童委員協議会、女性団体、ボランティアグループ、老人クラブ、事業所等の協力を得て実施しました。(募金総額 6,119,016円)
- 2) 配分実績

配分については、理事会、配分委員会の承認を得て次のとおり配分しました。

- ・配分額(地域福祉活動費平成23年度執行 5,759,398円)
- ・事務費(平成22年度使用分 359,618円)

(22) 罹災家庭援護事業等

- 1) 罹災家庭援護事業等(通年)

火事により罹災した世帯に対し、人数に応じ見舞品として寝具を支給しました。(寝具支給世帯 7世帯に7組)

(23) 介護支援事業

- 1) 在宅介護支援センターの受託運営

在宅介護者等の総合相談窓口として、サービス利用のための手続き援助やサービス事業者等との連絡調整を行いました。(平成22年5月末センター終了)

(年間相談延 323人 経費総額 1,714,219円)

- 2) ホームヘルプサービス事業の受託運営

生活支援ホームヘルパーの派遣

(対象派遣人数 延 10人、派遣時間数 10時間、経費総額 26,180円)

(24) 居宅介護事業

1) 居宅介護支援事業

介護保険の居宅介護支援事業所を開設し、利用者のケアプラン作成を行いました。

(対象人数 延 1,091 人 経費総額 13,565,474 円)

2) 訪問介護事業

介護保険の訪問介護事業所を開設し、ヘルパー派遣のサービスを提供しました。

	要支援	要介護
派遣対象人数	延 1,341 人	延 9,033 人
派遣時間	1,503.5 時間	10,639.15 時間

(経費総額 38,962,996 円)

(25) 障がい者自立支援事業

障がい者自立支援制度のサービスとして、訪問介護事業所において身体障がい者、知的障がい者へのガイドヘルパー派遣のサービスを提供しました。また、居宅介護事業としてヘルパー派遣のサービスを提供しました。

1) ガイドヘルパー派遣

	視 力	知 的
派遣対象人数	延 1,330 人	延 318 人
派遣時間	4,384 時間	728.5 時間

(経費総額 12,626,460 円)

2) ヘルパー派遣

(派遣対象人数 延 1,648 人派遣時間数 1,576 時間 経費総額 5,382,978 円)

(26) ヘルパー養成講座

知的障がい者（児）のガイドヘルパーの育成、および地域で生活する精神障がい者を支えるヘルパーの育成を目的に講座を開催しました。

1) 知的障がい者ガイドヘルパー養成講座

(平成 23 年 2 月 19 日、20 日および 2 月 21 日～3 月 11 日のうち 1 日)

受講者 35 人

会 場 講義：福社会館 演習：北野ハピネスセンター

2) 精神障がい者ホームヘルパーフォローアップ講座

(6 月 30 日、7 月 7 日、7 月 14 日、7 月 21 日、および 7 月 20 日～30 日の内 1 日)

受講者 計 21 人

会 場 講義：福社会館 演習：市内作業所

(27) 地域福祉ファシリテーター養成講座(6 月～平成 23 年 1 月 全 10 回)

三鷹市、武蔵野市、小金井市の行政と社会福祉協議会がルーテル学院大学と協働

して、地域に潜在化した福祉課題を発見し、自らが持つ能力や人脈、社会資源と連携しながら、具体的な支援内容を企画し実施できる地域福祉コーディネーター養成講座を実施しました。 受講生 15人 (三鷹市卒)